

平成 30 年 7 月 25 日

豊島区内の小中学生が、この夏、下記の通り映像制作に挑戦します。
撮影・上映会について、取材できますので、ぜひ下記までお問い合わせください。

プレスリリース
報道関係各位

一般社団法人リテラシー・ラボ

子どもたちが地域の魅力を切り取り、映像で発信！世界的ドローンメーカーも協力！
としま映像教育プロジェクトを開催します！

区内の小中学生が地域を歩いて、まちの魅力を発見し、プロの映像作家とともに映像作品を発信する取り組みを行ないます。これは、アクティブラーニングの手法を用いて社会教育を実践する一般社団法人リテラシー・ラボが、平成 30 年度豊島区映像文化普及・映像教育事業の受託を受け、「としま映像教育プロジェクト」を実施するものです。最終日には、完成作品を披露する上映会を大正大学で開催します。



教室内での撮影風景（昨年度）



鬼子母神にて時代劇の撮影（昨年度）

8 月 6 日（月曜日）から 8 日（水曜日）までのプロジェクト期間中、参加児童・生徒が撮影機材や録音機材を手に、設定したテーマに関連する区内の名所や施設、人物を取材し、映像制作に取り組みます。また、今年度は世界的ドローンメーカーである DJI JAPAN 株式会社の協力により、参加児童・生徒の目線・視点でより滑らかに撮影ができる機材が提供されます。

8月11日（土曜日）には完成作品の上映会を大正大学にて開催します。当日は参加者の他、保護者や教育関係者、取材協力者、地域住民などにもご出席いただき、児童・生徒が切り取った地域の魅力溢れる作品をご鑑賞いただきます。

〈プロジェクト概要〉

・ スケジュール

内容	日程	時間	会場
事前講習	7月28日（土）	13時30分～16時	大正大学
取材・撮影	8月6日（月）	9時30分～15時30分	区内各地
	8月7日（火）	9時30分～15時30分	区内各地
編集・ナレーション録り	8月8日（水）	13時～16時	豊島区役所
	8月11日（土）	10時～12時	大正大学
完成作品上映会	8月11日（土）	13時30分～15時	大正大学

※取材・撮影に関しては流動的に行うため、詳細はお問い合わせください。

- ・ 主催 : 豊島区
- ・ 企画・制作 : 一般社団法人リテラシー・ラボ
- ・ 協賛 : 大正大学
- ・ 機材協力 : DJI JAPAN 株式会社
- ・ 後援 : 駐日オーストラリア大使館

〈映像教育プロジェクトについて〉

映像教育プロジェクトは、子どもたちが映像制作の過程を通じて、地域の魅力を発見し、主体的に発信をしていくアクティブラーニングの教育プロジェクトです。平成27年から東日本大震災と原子力災害からの復興を目指す福島県広野町の公教育で導入され、平成28年からは豊島区において夏休みを活用した地域理解の学びとして多くの小中学生が参加し、これまでに13本の映像作品を制作しました。本プロジェクトはオーストラリアにおける多様性向上の教育手法をモデルにしている背景から、駐日オーストラリア大使館にも協力をいただいています。

〈問い合わせ先〉

担当：千葉（一般社団法人リテラシー・ラボ）

TEL：050-5275-8345 / 080-1054-0872

メール：izaya@literacy-lab.org

としま映像教育プロジェクト 完成作品公開上映会

がんばったよ。
みにきてね。



2018年8月11日(土・祝) 13:30～15:00

大正大学7号館1階プレゼンテーションカフェ

(豊島区西巣鴨 3-20-1)

子どもたちがプロの映像作家と一緒に映画をつくりました。
地域の魅力を探しに、カメラとマイクを手に、まちに繰り出し、人や歴史・文化・伝統に出会いました。
このまちのこれからを担う子どもたちが、どのようにまちを切り取ったのか。

多くの方と一緒に、作品を鑑賞できれば幸いです。

どなた様もご覧いただけますので、是非とも大正大学までお越しください。

